

令和6年度 2年次生 学びのプラン

教科名	芸術	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	2年次
科目名	絵画	履修	選択	開講	通年
教科書		副教材			
1 学習の目標					
○いろいろな表現形式による絵画表現に関する学習を通して、表現と鑑賞の能力を高める。					
2 学習の方法					
表現と鑑賞の2つの領域について、次の内容を学習します。					
○表現 ペン画…………… 透視図法に加え線の密度による濃淡の表現を身に付け、自分らしい表現 					

5 単元の目標・評価										
単元名	ペン細密画									
単元の目標	モチーフの選択、線の密と粗のバランスの効果を考え画面を構成する。									
育成を目指す力	傾聴力	発進力	想像力	創造力	計画力	知識活用	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	美術への関心・意欲・態度			発想や構想の能力		創造的な技能		鑑賞の能力		
評価規準	遠近法や密度に関心を持ち、活用しようとする。 透明水彩絵の具に関心を持ち、特性や使い方を理解しようとする。			魅力的なモチーフと場面表現の構想を練っている。		遠近法や模様、塗りつぶし、白抜きなどの効果的を組み合わせ、創造的に表している。		他の生徒の作品を見て、そのよさや美しさを創造的に味わっている。		

単元名	油彩画 抽象表現「心のイメージ」									
単元の目標	具象画、抽象画の概念を理解し感性や想像力を働かせて、自己、社会などを深く見つめ主題を生成する。									
育成を目指す力	傾聴力	発進力	想像力	創造力	計画力	知識活用	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	美術への関心・意欲・態度			発想や構想の能力		創造的な技能		鑑賞の能力		
評価規準	形の無い心表現することに関心を持ち、表現しようとする。 油彩画におけるマチエールに関心を持ち、工夫して表現しようとする。			自己を深く見つめ主題を生成し、よさや美しさなどを考え、創造的で個性豊かな表現の構想を練っている。		主題を効果的に表現するために構図や配色を吟味し、マチエールを工夫して創造的に表している。		他の生徒の作品を見て、そのよさや美しさを創造的に味わっている。		

単元名	イラストレーション・漫画『色の構成』									
単元の目標	色の三属性・トーンについて知り、三原色で絵をかく。 生成した主題を効果的に表現するために画材・技法を組み合わせるイラストレーション・漫画をかく。									
育成を目指す力	傾聴力	発進力	想像力	創造力	計画力	知識活用	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	美術への関心・意欲・態度			発想や構想の能力		創造的な技能		鑑賞の能力		
評価規準	色の特性に関心を持ち、設定した主題に合う表現方法を選び、工夫して表現しようとする。			感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的で個性豊かな表現の構想を練っている。		基礎的な減法混色を身につける。 主題を効果的に表現するために表現方法や構図・配色を吟味し、画材・技法を効果的に組み合わせる創造的に表している。		他の生徒の作品を見て、そのよさや美しさを創造的に味わっている。		

単元名	自由制作									
単元の目標	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生成する。 主題を効果的に表現するための画材・技法・サイズを考え、制作する。									
育成を目指す力	傾聴力	発進力	想像力	創造力	計画力	知識活用	分析力	課題発見	自己肯定力	行動力
評価の観点	美術への関心・意欲・態度			発想や構想の能力		創造的な技能		鑑賞の能力		
評価規準	美術文化を尊重し、主体的、創造的に美術の学習に取り組もうとする。			感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的で個性豊かな表現の構想を練っている。		創造的な表現活動をするために必要な造形感覚や専門的な技能を身に付け、表現方法を創意工夫して表現している。		美術作品や文化遺産、美術文化などについて理解を深め、感性や想像力を働かせて価値や美意識を感じ取り、創造的に味わっている。		

6 年間計画				
学期	月	単元	項目	予定時数
前期		オリエンテーション	『絵画』の学習内容を知り、見通しを持つ。	1
	4	ペン細密画 想像の世界	作品構想 ○モチーフ モチーフと場面の選択、構想 ○画面構成 配置と塗りつぶし、白抜きのバランスを計画する	12
	5		作品制作 ○下絵をかく 画用紙に下絵をかく ○ペン画について知る ペン画の様々な技法について知る。 ○彩色する 技法を選び、計画的に彩色する。 ○仕上げる 画面全体を見て、色調や質感を整えて仕上げる。 ○鑑賞する 互いの作品を鑑賞し、よいところを見つけ合う。 今回の制作の課題を見つけ、次の制作への意欲を持つ。	
	6	油彩画 抽象表現	主題を生成する ○自然、自己、社会を見つめる 自己の心や、社会をより深く見つめ、想像する。 ○想像を膨らませ、主題を生成する スケッチなど、手を動かすことを通して想像を膨らませ、主題を生成していく。	22
	7		油彩画をかく ○キャンバスをつくる キャンバスの規格・素材について理解し、作成する。 ○下絵をかく ○下地をつくる 主題が効果的に表せるようにマチエールを工夫して下地をつくる。	
	8		○かき進める 個性的な表現を目指して計画的にかき進める。 ○仕上げる 画面全体を見て、色調や質感を整えて仕上げる。 ○鑑賞する 互いの作品を鑑賞し、よいところを見つけ合う。 今回の制作の課題を見つけ、次の制作への意欲を持つ。	
	9			
	10	色の構成 (イラストレーション・漫画)	色彩学入門 ○色空間 色の三属性について知り、色空間について理解する。 色のトーンについて知り、簡単な構成をする。 ○減法混色 CMYの三原色で絵をかき、混色のトレーニングをする。 色による構成 ○構想する 主題に合った色の組み合わせ・配置を構想する。 ○パネルをつくる パネルの規格について理解し、水張りする。 ○下絵をかく ○彩色する 効率よく制作できるように、彩色する順番を計画する。 適切に混色し、濃度を整えて彩色する。	12
	11		自由制作 ○主題を生成する 美的直観力や自己の内面世界などを自由に用いて、創造的な表現となるように、作品の主題を生成する。	
	12		○表現方法を選択する 主題を明確に表すために、水彩画、油絵、イラストレーション、漫画やそれらの複合などの表現方法を選ぶ。	22
	1		○表現する 制作の計画を立て、材料を準備する。 計画をもとに柔軟に制作を進める。	
	2		○仕上げる 作品全体を見て、色調や質感を整えて仕上げる。 ○鑑賞する 互いの作品を鑑賞し、よいところを見つけ合う。 今回の制作の課題を見つけ、次の制作への意欲を持つ。	
後期	3	まとめ	1年間の制作を振り返り、創造の意義について考える。	1